

ゴールドデンダンス 株式会社

骨伝導の長所生かし、世界中に聞ける喜びを

- 海外発注可
- 納期相談
- 企画力自信有
- コスト相談
- オンリーワン技術
- メイドインジャパン
- 試作可小ロット
- 量産対応



トランシーバーに接続する骨伝導通信システム「阿吶 (あうん)」

業務内容 自らの感動をもとに起業

中谷明子社長は夫の任徳氏(しんとく)が持ち帰った骨伝導製品を見て2人で感動、骨伝導製品を扱う会社の設立準備を進めていたが、夫が当時勤めていた会社を辞められなかったため「専業主婦」が代表に就任した。設立当初は大手メーカーの骨伝導製品販売を行っていたが、顧客の声をメーカーに伝えるも受け入れてもらえず、自社で開発を手がけるようになった。平成17年に世界初の音楽を聞ける骨伝導製品を発売するとインターネット通販の売れ筋ランキング上位に入り、量販店など全国で取り扱われ、認知度が高まった。

強み 鼓膜を通さず音を聞ける

骨伝導製品に特化した事業が強み。骨伝導は、音を頭蓋骨の振動で感じる仕組み。通常は音(空気の振動)が耳の中の鼓膜、耳の奥の蝸牛(かきゅう)と呼ばれる部分を通じて脳に情報が伝わるが、骨伝導では鼓膜を通さずに骨の振動を蝸牛に伝えている。このため鼓膜で音を伝えられない聴覚障がい者も音を聞くことができる。耳栓をしていても音が聞こえ、例えば騒音のひどい場所でも骨伝導製品を使えば聞き取りたい音を確実に聞くことができる。骨伝導の特徴を詳しく理解し、その長所を生かした製品づくりで事業の幅を広げている。

独自製 幅広い製品で

従来の骨伝導素子は圧電タイプやマグネチックタイプだったのに対し、自社開発のダイナミック方式を活用する。同方式は音のレンジが広く、消費電力も少ない特徴を持つ。オンリーワン技術の開発で、製品の幅が広がっている。日本放送協会(NHK)から依頼を受けてキャスト用イヤホンを開発したのははじめ、西日本高速道路メンテナンス関西(株)向けに道路工事作業者が騒音の中でも警報、指令を的確に聞き取れるコミュニケーション装置を開発した。骨伝導イヤホンと集音器をセットにして補聴器の代わりに使える商品など、多数の独自製品を企画、開発している。



骨伝導イヤホン

今後の展望 認可取得し補聴器開発にも着手

骨伝導製品ビジネスを展開する中で、聴覚障がい者など通常の鼓膜の振動で音を聞くことができない人から切実な依頼を受けることも多い。ただし、医療器具として本格展開するには法律の壁が立ちほだかる。このため新製品開発に力を注ぐ一方、平成26年には医療機器製造販売業認可、医療機器製造業認可を取得、骨伝導補聴器の企画開発にも着手している。さらに関西医科大学や医療機関と連携して骨伝導の安全性検証も行っており、「骨伝導製品を使用することで、世界中の人に喜んでいただきたい」という願いの実現に向け一歩ずつ前に進んでいる。

COMPANY PROFILE ゴールドデンダンス株式会社

全国26

当社の歴史

平成14年に設立しました。「人のためになるものづくり」「社会貢献できるものづくり」を基本理念に掲げています。常に自社オリジナルの商品を心がけ、当社の骨伝導は振動素子で音を聞くだけでなく振動をピックアップすることもでき、さらに進化した骨伝導商品の開発も進めています。

振動素子のバリエーションがあり、用途に合わせた骨伝導素子を使用し商品化、提供できます。

代表取締役 中谷 明子さん



■主な事業内容
骨伝導の「製品・通信機器・補聴器」などの企画・開発・製造・販売

■主な取引先(納入先)
日本放送協会、防衛省、各消防署、各警察署、その他行政機関、豊田通商(株)、西日本高速道路メンテナンス関西(株)、宇都宮製作(株)、エリエールプロダクト(株)、(株)キクスズ、大成建設(株)、NEXTIDEVOLUTIONほか

住所 / 〒536-0001
大阪市城東区
古市3-22-19
TEL / 06-4255-3030
FAX / 06-4255-3036
創業 / 平成14年1月
設立 / 平成14年1月
資本金 / 4,400万円
従業員 / 6名

<http://www.goldendance.co.jp>